

みんなでつくる
住みよいまち

自治会に加入しましょう

自治会とは、地域に住む人たちがお互いに助け合い、協力しながら、「自分たちの住む地域を自分たちの力で住みよい地域にしていこう」とを目的として、自主的に活動している自治組織です。市内では、自治会のほか、区、町内会、公民館などの名称で呼ばれています。

明るく住みよい地域づくりを目指すため、自治会への積極的な加入をお願いします。加入については、お住まいの地域の自治会長、区長、町内会長、公民館長、役員などにお尋ねください。自治会長などが分からない場合は、問い合わせください。

☎ 総務課 行政管理係 ☎63-1209

私たちの身のまわりで行われている自治会の活動 /

防犯・交通安全活動

防犯灯の設置・維持管理や防犯パトロール、交通安全指導などを行い、地域の安心・安全に努めています。

防災活動

防災訓練などを実施し、災害に備えています。また、災害が起きた際は、協力して助け合います。

環境美化活動

リサイクルステーションの設置・維持管理や公園、道路などの清掃を行い、地域の快適な生活環境維持に役立っています。

親睦行事の開催

お祭りやスポーツ大会などのイベントを通じて、住民の親睦を深めています。

地域の課題解決

地域内のさまざまな課題の解決に向けて、他団体や行政と連携しながら活動しています。

情報の提供

回覧板やポスターで、地域に関する情報などを提供しています。

地域の活動掲示板

荒尾市ではさまざまな活動が行われています！

鯉のぼり掲揚



4/5～
5/31

平井地区協議会

平井地区協議会主催の「鯉のぼりの掲揚」を今年も岩本橋付近の関川沿いで実施しました。地域住民が持ち寄った60匹ほどのさまざまな鯉のぼりが川の上を泳ぐ姿が見られ、歴史が感じられる岩本橋と鯉のぼりの大群が道行く人を楽しませていました。

カライモ作業



4/8

府本地区協議会

府本地区協議会が毎年9月下旬に開催する「カライモ掘り大会」に向け、現在、同団体がカライモ作業に取り組んでいます。この日はカライモ畑の畝立てとマルチ張りを行いました。今年もたくさんの方に喜んでもらうため、地域一丸となっておもしろいカライモ作りに取り組みます。



100歳おめでとうございます！

よしだ よういち
吉田 洋一さん(野原北区)

3月28日に100歳を迎えました。野原の出身で、子ども2人・孫3人・ひ孫が3人います。市役所企画管理課に勤め、文化センターの初代館長を務めました。定年後は娘2人と年一回旅行に行くのが楽しみでした。読書が趣味で、甘いものが好物です。長寿の秘訣は「好きなように生きること」。振り返ると「文化センター設立が一番の思い出」と仕事に情熱を注いだ人生だったようです。



100歳おめでとうございます！

むらかみ きみこ
村上 キミ子さん(本村区)

3月25日に100歳を迎えました。本村出身で、子ども3人・孫が1人います。若い頃は、東京陸軍第二造幣廠本部事務所でタイピストをしていて、長崎原爆投下時には軍の調査結果を徹夜でタイプしました。趣味はインコの世話で、好きな食べ物はみかんなど柑橘系。長寿の秘訣は、いろいろ興味を持ち、よく食べること。人生で一番の思い出は、「終戦まで軍に出て仕事をしていたこと」だそうです。



3/21

第三期中期経営計画

点検・評価報告を受けました

荒尾市立有明医療センターあり方検討会(会長・小野 友道熊本大学名誉教授)から、荒尾市立有明医療センター第三期中期経営計画の令和5年度の実施状況について、点検・評価報告を受けました。今後も健全な運営に努め、信頼される病院を目指します。



点検・評価の主な内容

■ 医師確保や人材の育成など、将来を見据えた効果的な投資を行いながら、人件費に見合った医業収益の確保に努め、健全な経営の推進に取り組むこと。

■ 急性期病院の役割を果たすとともに、周産期医療を支えるための体制を維持し、地域住民の信頼と安心に応える病院であること。

■ 地域住民の生命と暮らしを守る拠点病院として人材の確保に努めるとともに、働くすべてのメディカルスタッフが、適正な勤務環境の下で医療を提供できる体制の構築に努めること。

